

バスト週報

第1034号
昭和45年
二月23日
発行

Director
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres
Vargas 188
C. Post. 112
Fone 40
Bastos
C. P.
Annual
N. Cr. #
18.00
Adian.

霹靂 8

大國の意識

○ 日本語の新しい自覚

これまでコロニアで論議された日語学習論の基準をなすものは、1世と2世の言葉によるつながり、2、日本文化の日本語による移植、という面で、日本語の重要性が強調されて来、又、事実どういふ論理付けによって、児童に日本語を教えつつある。

しかし、実際問題として、低年児童から中学乃至、もつと上級学年の、青年子女に到るまで、日語校で学習している間だけは日本語を使うが、一歩社会に出ると、全然日本語を使わないし、家庭に於ても、祖父母又は父母に対しては日本語を用いても、彼ら同志では葡語を使っているのが現状で、而も一部の家庭を除いては、すべてといつてよい程葡語になりきっているか、又は葡語に移動しつつある。

①は掲げた一世と二世とのつながりの為めの日本語は、もうその必要性に於て、ピクを越えつつある。恐らく現在の七十歳並みの老人で葡語の判る人は少いので、是非日本語が必要だが、現在五十歳の人なら、子供との対話に、絶対日本語でなくてはならぬという層は、一部は別として、大部分なくなるだろう。

日本語を学得しつつある児童は、日本語は知ってはいるが、彼ら同志で使うこともなく、外国語の一つを知っているという、智能の点から評価はされるが、祖父母の相手を失えば、そこで会話相手を失うことになり、一種の段落を意識せざるを得ないだろう。

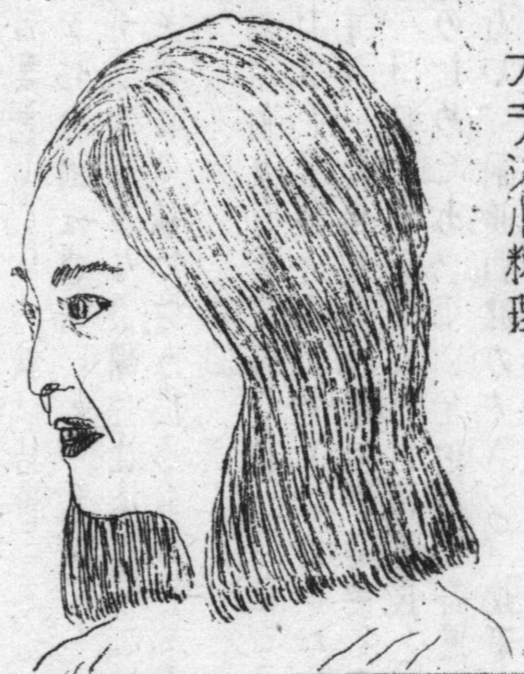
日本語は、あと十年もすると、北米並みの水準まで衰退するだろうと、サンパウロ大学の野元教授が警告されたところである。(パ紙、二月六日)

「このままでは、というのは、親の自覚いかにある」のである。ブラジルに永住する以上、葡語一例迎の実利主義も止むを得なからう。そればかりか、年々日本語ばかりの年寄り片づいて行くとする、日本語人口というものが、それだけ減ってゆく勘定である。従って日本語に対する覚悟というか、自覚というか、目標がはっきりしないといけない。今迄のように單なる対年寄用の日本語目標の

毎度ありがとうございます
お泊りと、御食事に
御会食と御宴会に
御家族連れのお食事に
是非当店を御利用下さい

和食・洋食
ブラシル料理

HOTEL PRIMAVERA Bar e Restaurante



ホテル・バール・食堂
プリマヴェーラ
森川悠一

電話 九二

みであつてはならず、世界用語としての日本語として飛躍すべきである。

きくところによると、北米の最高学府では、外国語試験にニカ国を選び、これまで英仏独スペイン語の四カ国語であつた中に、日本語を加えることになつたといふ。商業は英語、社交は仏語、新しく登場した日本語は科学といふ趣か。いすれにしても、世界語として登場した以上は、日系諸氏も、環境の便益から試験のニカ国語中、日本語を一つ加うべきは勿論、これによって、祖国日本の文化を肌で感じ取り、これを生国ブラジルに伝え、当国の文化に貢献することこそ、天賦の使命という可きではなからうか。

吾々の周辺から母国語を村絶すること、民族的な恥辱であることを銘記しなければならぬ。日本語に対する新しい使命感を子弟の親たる者が自覚すべきであらう。

○ 西独の計画
これもきいた話であるが、あまり規模

が雄大で、着想の雄大なのに一驚を喫したので、ここにまとめてみる次第だが、戦争の種を撒き、その責任の帰趨を相手方になすりつけ合う某々大國に比し、何と立派な文化事業ではあるまいか。

西独がこんど、メキシコ市に綜合大学を建設した。近代的設備をもつ、すばらしい大学だそうであるが、これをボン政府は、無条件でメキシコ政府へ寄附したそうである。メキシコの数ある大学の中、最優秀な大学を、ボンと寄附し、唯一の希望というのには、週一時間各学年へ、西独の事情へ国情、政情、學術、文化などを講演することだそうだ。且つ、その大学を卒業すると、西独政府から、三カ月以上の招待旅行に招かれる。というのである。西独政府の寄附した優秀大学を出ておまけに、西独留學もさして貰える。學術研究の学徒として、憧れの西独へ留學できるのは、卒業生にとつて、此の上もない魅力であろう。

彼らは、西独政府と國民の歡迎に、應えて、恐らく大多数のメキシコ學者は、西獨に對して並々ならぬ好感をもつに列るであろう。

そして何十年の歳月を重ねてゆく、西獨の親善關係は、どういふことになるであらうか。西獨でできてゐる医学器材、工学器材、さまざまの科学器材、その他の重工業品、小は雜貨に到るまで、メキシコ、イン、アレマンがきわめて自然な経路で、メキシコに送り込まれるであらう。學生の中から、將來メキシコの要路に立つ人ができれば、ドイツとの外交、國家經濟、その他學術の交流なども円満にゆくであらう。この半世紀にも及ぶ將來の取引のために、今から手をうっておくうとする西獨の眼のつけどころ、何とまあすばらしいではないか。

巨大な投資であり、最高の外交である。少くとも飛行機や軍艦や戦車を売つて、戦争誘発の毒ガスを撒くより、遙かに文化的な仕事ではあるまいか。西獨は第一第二の大戦で灰塵に帰したが、見事に再興した。しかも西歐の金融、産業の先頭を切つて先進國英米仏を引き離しつつある。あり余る國力を中米に投資して、大芝居を打とうとしている。胸のすうつとすうつではないか。

中南米数ある中で、最も将来性のあるメキシコへ白羽の矢を立てたこともさすが、とうなずけるものがある。

○日本政府に望む

前項の西獨政府の對墨政策の雄大さと規模の雄大さを、そのまゝ、まねしてよいから、日本政府に於ても、リオ、又はサンパウロ市に綜合大学を建てて、ブラジル政府に無条件で寄附するよう立案

訂正

本紙二月九日発行第四頁の「バスター農村シンジケート臨時總會決議事項」の文中、四頁の終りから二十三行目の文は「大手術の場合には、ツパンの病院へ入院させる」と、同じく終りから五行目の最後の「二月から左の通り決定したのであるが、」は傍点の句を取り消し、「決定した」と、訂正いたします。五頁の三行目と四行目を

書記川崎田春一、會計川山中安彦、の誤りにつき訂正致します。

をしていただきたいと望むものである。日伯交流が今日ここまで来た以上、古い國交ある、伊、米、葡の後塵をかぶつて仲間入りをしたのみならず、何十万と移民を送り込んで来た日本は、ブラジルに真に感謝をしてゐるものと思ふが、この辺で、御礼の意味で、大学を寄附し、卒業者は日本に留學招待をする、というような雄大な計画をしてもらうことは、在伯の日系にとつて頗る力強い激励となるだろう。

新進日本の優秀な學術文化を取り入れてもらうことは勿論、多くの知日家が、ブラジルの対日感を、より一層好転せしむるに益し、自明の理といふべきであらう。コロニアはもう、自力でやつて行ける年配になつたのだ。色々な名目の補助金申請などはやめろがよからう」という、小さな事にまで指図される相であるが、コロニアの力強い自立性をきたえて下さる御言葉としては、誠に結構であるが、例を社会福祉運動にとつてみても、先進諸外國の立派な設備に比して、コロニアのそれは、誠に微々たるものであるという。

勿論経済的及び富の力では、コロニアは、まだまだ全体として貧しいといわねばならず、母國政府の援助が必要である。コロニア援助は、自國移民とその後裔のためであつて、全伯人を對照としていない。前項西獨のメキシコ政策は、自國移民の對照ではなく、尤もドイツ移民がメキシコに居る話は、さいていない。半世紀、一世紀後への布陣であることに集点をあわせ、必ずしも大學寄附はなくても、新日、知日の多数の伯人を養成してゆく何らかの目標を以て、遠大投資をされるよう望むものである。

突然聞きかじりの案を文章にして、さあ、どうだと云つて見る気は、さうにならぬが、日本の對日策というものが、今少し大きなスタイルであらわれたいか、今少しのかと思ふあまりの提案である。

汎パウリス夕 連合日伯文化協会定期総会

去る二月十五日、ツパン文化協会々館に於て、汎パウリス夕連合日伯文化協会の一九七〇年度の定期総会が開催され、同時に日語普及会、日語教職員会も召集され、左記の人員が出席され、中山隆氏の司会で開催された。

同日出席者人名

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ツパン | 川村市太郎 | 木村 尹 |
| | 坂井 等 | 光永 逸喜 |
| | 吉本 斉 | 中山 隆 |
| | 長谷川万作 | 原元 保 |
| | 余 眞 眞司 | 梅津 愛子 |
| バストス | 杉山 寅藏 | 阿部 新藏 |
| | 真木 諭吉 | 柳屋 寿和 |
| オ、クルース | 羽藤 唯好 | 加藤 まりえ |
| | 加藤 唯好 | 加藤 まりえ |
| バラフアン | 前田 精勝 | |
| ルッセリア | 里野 竹男 | 渡会 省三 |
| | 開本 | |
| アダマンチーナ | 横山 敬男 | 赤木 国男 |
| ドラセーナ | 和田 定春 | 中川 誉雄 |
| | 中戸 義登 | 丸山 藤一 |
| | 富吉 方暢 | 井田 憲治 |
| バカエンブ | 池松 明正 | 矢野 忠輔 |
| | 浜野 定 | |

一笑に付せられてもかまわぬ、関係官僚の眼にとまつて笑われてもかまわぬ、永い眼で母国政府の対策を見ていて、何か驚天動地的な、大芝居を見せてくれないかと思つてゐるわけだ。

(本篇のイメーヅは「のうそん」の永田久氏からもらつたことを附記する)

糸 音

上段よりつづく

日語学校の行事を今年は、お話会のみに決定。

期日は八月三十日(第五日曜日)とし、場所は、アダマンチーナ文協会館で開催と定め、内容の細則は、後日教職員と普及会々談にて決定する。

文協の行事は、後日各地の意見希望等を聞いてから決定する。

以上

アマルゴゴゾ 9 グニフバドール ⑤

岩田のおばさんは、招かれれば何処へでも出かけ、三味を弾く気軽なおばさんであつた。唄の節は正統で、クラシックな代り、艶はなかつた。唄を少しいためていて、義理にも美声とはいえなかつたが、教え方は実に親切で、とことんまで正確を期すというお師匠さんだつた。

腕は年期入りの達者で、かけがえのないおばさんだつたが、カンピーナス移転後、耳が聞こえなくなり、さみしく暮らしているといふことだ。世話になつただけに、まざまざと印象にのこつてゐる。

唄の会は、一たんつぶれはしたが、半歳もたたぬうち、老妻の発案で唄の会を再建することになつた。誰を会員にするんだ、と聞くと、やはり民謡の唄を唄おうといふと、どうしても、老人であることなどは家内の云い出しだから、婦人優先で、みつ、しばた、まる、やす、などという人が前後して集まり、男性は加藤さんなどが主となり、外に時々一人二人同席する程度だつた。

三味線は、栖原老夫人と、宮武さんの二人。栖原老夫人は、岩田さん時代から常に一しつしよに三味を引いて下さつたが、岩田のおばさんが居なくなつてからは、主任教頭で指導する。大体やさしい人なので、生徒がまちがつても叱り飛ばすような事はなく、極めてやさしい先生である。

ところで女生徒の方だが、みつさんにしても、しばたさんにしても美声だし、覚えが早く、忽ち三つ四つ上げてしまつた。けいこも以前のようにはげしくは

1970年1月分 バストスの気温と降雨量 ブラック製糸株式会社 測候部

項目 日	気温 °C	湿度 %	湿度 計 °C	最高 気温	最低 気温	降水量 mm	風向	天気	雲量
1	24.0	90	23.0	28.0	19.0	19.0	E	☉	9
2	24.0	81	22.0	32.0	20.0		NE	☉	5
3	27.0	66	23.0	33.0	20.0	1.8	NE	☉	7
4	28.0	67	24.0	33.0	21.0	2.9	NE	☉	5
5	29.0	67	25.0	34.0	20.0		N	☉	8
6	32.0	56	26.0	35.0	22.0		N	☉	5
7	30.0	61	25.0	36.0	23.0		N	☉	3
8	29.0	67	25.0	36.0	23.0	5.9	N	☉	7
9	24.0	90	23.0	30.0	23.0		N	☉	8
10	24.0	64	20.0	30.0	20.0		SE	☉	7
11	24.0	64	20.0	30.0	15.0		E	☉	
12	15.0	51	19.0	32.0	14.0		E	☉	
13	27.0	59	22.0	34.0	17.0		E	☉	25
14	29.0	54	23.0	34.0	18.0	3.0	N	☉	5
15	24.0	81	22.0	25.0	19.0	3.4	N	☉	8
16	20.0	89	19.0	29.0	18.0		S	☉	8
17	23.0	80	21.0	32.0	19.0		S	☉	8
18	25.0	73	22.0	33.0	19.0		E	☉	7
19	24.0	66	22.0	33.0	21.0	0.9	N	☉	8
20	26.0	73	23.0	31.0	21.0		N	☉	5
21	27.0	53	21.0	32.0	18.0		N	☉	
22	28.0	60	23.0	34.0	21.0		N	☉	
23	27.0	59	22.0	36.0	19.0		E	☉	
24	27.0	66	23.0	36.0	19.0		E	☉	
25	30.0	55	24.0	35.0	19.0		E	☉	
26	29.0	54	23.0	37.0	19.0		E	☉	2
27	28.0	53	22.0	36.0	20.0		E	☉	5
28	28.0	53	22.0	34.0	20.0		E	☉	1
29	29.0	60	24.0	36.0	22.0	1.5	N	☉	3
30	27.0	74	24.0	34.0	22.0	3.2	N	☉	7
31	23.0	90	22.0	32.0	23.0	1.8	N	☉	10
合計	820.0	69.9	69.9	102.2	61.4	13.3			2
平均	26.4	6.6%	22.5	32.9	19.8				

ある夜宮武さんは、黒い小箱をもちこ
んで、メーザにおいて、
「今夜は一つみなさんの唄を録音して見
ましよう」という。録音と聞いて一同尻
ごみをする。婦人達は、すっかり硬くな
って、途中で文句がつかえたり、合の手
をまろがえたりするのであった。それで
も一通り録音を終えて再生すると、唄
の間に全話がとび出したり、茶碗の音が
きこえたり、時計がコロン、鳴り出したり
、中々面白い。
自分で唄っているのをきいていると、
閑遠いもわかるし、クライマックスの時
の節まわしに工夫を入れることにも気が
ついて大変具合がよかった。
宮武氏が唄は「んたれ」持参で来
たかという。と、やっぱり一種の道楽だ
あったと思われる。
ある日宮武さんが写真仲間のN店の方
へ遊びに行っていると、N店主、早速グ
ラバドールを持ち出して、宮武さん、ま
あきいて下さい。実は、日本にいる実弟

から小型テープを送って来たのです。別
に手紙も添えてあったが、テープには、
昨年大晦日に行われたNHKの紅白歌合
戦の生放送で、終りの方の余白に実弟の
声のたよりがグラバされているので
結びの方に末春大阪の万博には訪日され
るでしようから、その時御目にかかれる
のを楽しみに待つて居りますとあるので
すよ。三十数年前に別れた弟から切々と
胸がつかまって、涙が落ちましたよ。さあ
今トツカしますから聞いて下さいよ。とい
うので宮武さんNHKの紅白歌合戦を聞
いた。
かねて唄にはきいていたが、坂本九司
会の紅白歌合戦のテープをきいて大いに
感慨を催した。ついでにN店主宛の弟さ
んの声の唄にも、知い時に別れた実兄
に対する思慕の情が切々とにじみでこ
いて、他人ごとながら胸迫る思いだった。
「グラバドールって、いいもんぞすね」
と、しみじみその時思いこみ、聖市には
ソニー会社のいいマキナが来ていると知
って、その場でN店主に購入を依頼した。
宮武さんにかかれて欲しいとワクワクと
思ったのだった。日ならずして新型マキナ
が届いたので、早速作業を始めた。バス
コをトツカしておいて、連絡線をグラバ

5
ドールに差し込んでおくと、ジスコは、そのままこちらへ録音してくるのである。その時思いついたのが、唄の会のマ放送の録音である。

宮武さんは、そんな思い付きでグラバドールを唄の会にもちこんで以来、会のたび毎に会員の唄を録音し、一曲終るとすぐ再生して聞かせる。

「三味線の前弾きの所で声を調え、唄い出しの音が三味線に乗らなきやいかんですよ。そうすれば、楽に調子が出るに六十、七十の老生徒の音楽教室のことであるから一頭から叱るわけにはいかない。そればかりか、メーグにはアルコール分が出てゐるし、肴もある。

婦人たちには、茶菓子にカプチン、お茶が出ていて、音楽教室とは云い條、多分に遊興的な雰囲気である。

大体日本の音曲は独唱するように出ていて、三味線は一挺より二挺がよく、上手な人が三人も揃って弾くと、唄い手は体が宙に浮くようで、三味線のリズムに乗って、いい調子になってしまふ。そこまで行けば大したものだが、素人の老人では、とても、急には望みはなからう。

それでも、グラバドールの効き目は、一回毎にあらわれ、めいめい自分の唄い方の非に気付くようになったが、中には自分の唄がこれではかなわぬと、悲観する者がある位だった。自分の唄が下手だと気がつくようなら進歩の余地はあるわけだ。

糸音

移転御しらせ

材木店は、都合により左記へ

移転いたしましたから、御しらせ

いたします。相かわらず御引立下さい。

今迄の処より(ツツケデカシマエ街)の南方三筋目ミランテパローゾ街角

(宗像製材所)

篠崎才八郎

電話二五六

何とかならないものか

福瀧 温

5
何が六ヶ敷しいと言つても、農業経営程六ヶ敷しいものは他に無い様に思われるが、本年作物は別として、一年作を主としてこの農作に於て、殊に甚しい様である。

Ensinar-se Sanfona (Acodeon)

アコーディオン

教授します

アコーディオンをお持ちでなくともお貸しします。

習得御希望の方は

「マトリクラ」に御出で下さい

月、水、金 は、終日受付ます

くわしいことは御面談の上

バストス市 プレンテンテヴァルガス

テレフォニカの上隣

アコーディオン課

福森ナオミ

ピアノ課

Dona VANDA

る。毎年のように、豊作、不作で悲喜交交、という状態が方々に醸し出される。天候相手の自然農法では、万止むを得ない現象と受け取れない事もないが、やはり方次第では、その不可抗力と思える結果も、減少されるのではなからうか。昨年は、其の感が特に甚しかったようである。

フェツヨンが最高ニコントスビ、八百から、所によつては、ニコントス進行の様であるが、バタタもニコントス二百となり、米も可成高値が続いている。所謂神武相場を出現して、其の恩典に預った人を有頂天にし、反面、手を出さなかつた者をくやしがる。また、ブラジルに於ける主食の三大柱とも言うべき、米、バタタ、フェツヨンがべら棒に上つたのでは、我々下層階級のものはお手揚げである。逆も無頓着に買い込むという訳には行かない。

先ず何よりも、懐中具合を診断し、次は一カ月の経済状態を胸中でトックリ判断してからでなくては、財布の紐はほどかれぬ。何と、味気ない話ではないか。

* * * 誰かが思い付きで、何か変つた物を作る。それが當つて、大変儲つた。珍らし

いから良い値で取引さされたのである。某産業組合の元理事長は、金は仕事を「やっつた」と思つて、次の作では大拡張する者に貸してやらねばならぬ。ジャンジして、大儲けを夢見たが、どっこい、出マン仕事をする者を応援してやらねば、荷の頂ともなれば、値段はさっぱりであらう。何処に発展性があるか、と言つて、小さな農業者には見向きもせず、大きな農業者にドンドン融資して、其の場句に一時非常な困難な立場に追い込まれたとも聞

る。どうしてだろうか、と調うべければ、真か偽か知らぬが、卵の利益金は六十、近所界限、誰も彼も一人残らず、それ非常な困難な立場に追い込まれたとも聞を作っているのである。これでは値の出ていない。真か偽か知らぬが、卵の利益金は六十、足を出してしまい、四苦八苦の状態に落万コントもあつたのに、総合決算では僅ちこむ。世間は決して、特定の一人だけか一万五千コントスしか利益が出なかに、続けて儲けさせてはくれないのであつたとか。

人が儲ける時には、自分も儲けなければならぬ。其の人の考え方を判断してみるに、投機的で何でもよい。其の結果がどうなるかと、自分には関係ない。値段の暴落を、指を喰えて見ているのは癪である。で破産状態にならうと、最悪の場合にはそんな考えかどうか知らぬが、多分自殺する者が出ようと意に介さない。とも受け取れるような方針であつたと思われ。

だから、誰かが或作で儲けたと聞くと、堅実性の判断も、需要供給の均衡も無、次の作には猫も杓子も、それを大量に視して、大増産、大豊作で、値段は大暴植え付ける。其の道の人か口を酔っぱく落となり、その反対の場合、大減作で犬と骨を折つても、一向に馬身東風で聞く不作で、値段は大暴騰で、所でない。当て付け見たいに却つて縮ぢ、幾らバタタが安くなつても、安いから張しようとする。といつて二倍も三倍も食つて、食い留め

その結果は自明の理である。大増産の向うには、大暴落という陥し穴が、待ち出移ぎ移民の一世の考え方が、今に列構えているのである。るも頭から抜けず、一攫千金の夢を見て

名作映画の鑑賞 於 シネバストス

文部省選定 優秀映画鑑賞会推薦 日本主婦連合会推薦
日本青少年映画審議会推薦

名作『二十四の瞳』を生んだ巨匠、木下恵介、監督が再び放つ『師弟愛の感動』

東宝 天然色 **なつかしき笛や太鼓**

来る 二月二十八日(金) 二十八日(土)

島の子らと先生の心にしみる愛の交流、
美しい瀬戸の海に綴る感動の幾春秋

瀬戸内海に長期日夕敢行。香川県丸亀市の沖合は左に粟島と右に瀬居島、その中間に浮ぶように小手島がある。この美しい島を背景に東宝が良心を結集した話題の大作。バレーボールで逞ましく生れ替る孤島の子供と若い教師の熱情、繊細なタッチで瀬戸内海を舞台に幾多の名作を紹介した「木下監督」が、類稀的な作況溢する映画界に、救えて作家的良心をぶつつけて世に問う超大作。孤島は複式学級という宿命を背負った島の子供たちが、若き教師の熱情と、人間愛にはぐくまれ、バレーボールを涌じて、たくましく生きるよろこびを知るといふ感動的な物語り。

投機的農法を続けると云う事も、合点づけられない訳ではないが、何とかならないものか、と思ふのは私だけではあるまい。聞く処に依れば、北米では、綿作、小麦等、主要農産物の作付は、総べて、政府の統制下にあり、農民が勝手に作付面積を増減することを許さない。という事である。

勿論其の政策を取ら以上、其処に色々恩典もあり、餘剰農物の買い上げから、値段の保証もあり、お百姓は安心して農業に従事する事が出来るようになったといふと、

斯んな方法は、全体主義的な匂いを感じさせるが、人間の欲望には切がないから、其の無謀なる欲望を压え、農界の安定を計り、ひいては、生活を安定させるためには、必要、有効なる方法と思われ

私は、何も全体主義を歓迎する訳ではないが、我々生活安定という見地に立つて、農業経営に対する、或る程度の統制、制限は、あつて差支えないと思ふ。

現に珈琲とか、工業製産品に対しては可成りの政府の制約が実施されているよ

うであるから、これを、今少し敷衍せしめて、食糧品の生産にも及ぼして悪

かろうと思われぬ。

鶏卵も亦、最近少し高騰するようない配が感ぜられる。

値が上るには、上るだけの理由、原因があるのは判るが、毎月定った僅かの給料で生活を立てている、我々月給取には、どうやくりくりの仕様もない程の値段になつては、全くお手上げである。

何とかならないものかと、愚痴るのも当り前でしょう。

一九七〇、二、十七。

Relojoaria Takata

セイコー

入学と進学祝のプレゼントは
世界最高の腕時計セイコー印
眼鏡、貴金屬類、宝石
万年筆各種
バストスロードビアリオ前

高田時計店

電話 九三〇
郵 函 一〇

アマルコロン

餞別遠慮論

餞別廃止論といたい肌だが「廃止」ではちとひどすぎるから遠慮して「遠慮論」にしておく「論」も少し大袈裟だが、せめて看板だけでも堂々としていないと、人が寄つてくれない。

先日、文協の阿部さんが、こんなことをいった。

「この三月には万国博で、訪日客がバストスからも、どつと多勢押しかけます。それについて、これまでだと、訪日する人には、何がしかの餞別を上げる。又もらった方では、ハンカチ一枚でもお土産をと、心がける。

一人や二人のことなら何とかなるが、数十人では何とも早お手上げです。何しろ、航空旅行では、手持品は二十キロという制限付きだから、自分の身の廻り品だけで一ぱいだ。

そこで思いついたわけだが、餞別は今後は御遠慮申上げる方が礼儀というもんじゃないでしょうか。又、お土産は一切御心配なく、というのが気楽旅行させる所以ではないか……どんなものでしょうね。その代りといつてはおかしいが、社行会は、して差し上げる。それも、何回も回を重ねるのも考えものだ。綜合会館に一ぺんに集つてもらつて、関係者にも参加して貰い、社行会をしたら、という話も、もち上つていゝるのですが、どうですか、御意見は」

聞いた私も、それはよい話だと思つた。たとえば、私自身のことをいって申わけはないが、たとえば、誰かに餞別を差上げたとしても、決して、ハンカチ一枚でもお土産などもらおうなどとは思つていない。しかし、過去の事例では、何人かの人にお餞別を上げ、又お土産をもらつていゝる。聞けば船賃で後送するという大掛りな旅行であつたらしい。

こんど万博訪日は、往復飛行使だし、制限以上は、料金を払つても許可にならぬという厳しさだということから、お土産どころのサタではない。これは、餞別を上げなければ、お土産の心配もさせぬといふ因果関係なのだから、夕ネをまかめに限る。

「ところで阿部さん、それは誰が提案するのですか」

「文協理事会案として提案し、理事会として決定するより仕方がないでしょうね」

「文協には、そんな権限があるのですか。たとえば、決定した事項を破る人があつたりしたら罰金を加えるとか」

「お餞別は遠慮しましょう。お土産の」

心配はやめましたよう、合同で社行会を催
しましよ……という決定と、実行する
ように謀るだけでしょうね。まさか、速
反者から罰金取わけにもいきませぬ。速
「それで結構という人もあり、又、めし
の廻は特別関係だから、そう一本一末と
いうわけにはいかん、という人もあるだ
ろうし、親戚関係などと云うと、あまり
立ち入ったことは云えなくなる……のこ
はないかね」

「親戚は、別でしょうね」
「では、こうしたら、どうでしょう。絶
対にお土産は、おことわりするという条
件で、お餞別はしてもいい……」
「もらった方でも、そんな条件つきでは
おことわりします……って、つき返すよ
き……」
「じゃ、どうどう廻りになってしまっじ
やないか」

ひとの事だから笑い乍ら、こんな話を
したものだだったが、それっきりどうなっ
てしまったのか、うんともすんともあとの
の話をきかない。やはり議論百出して
るのではなからうか。

「餞別は上げたつもり……もらったつも
り。お土産は上げたつもり、もらったつ
もり」の落語……
まうのが一番無難らしい。特別因戚関係
以上のお義理関係は、表題の如く「遠慮
論」実行が一番よろしい。
但し、一人だけのけものになれないよ
う、眼を光らせて頑張りなさい。
どうもすばらしい論文になってしまっ
た。

糸 音

深夜放送(日本) ヤンリク・ヤンタンを 見てびっくり

田辺聖子の上方ルポ

ヤンリクは何や？ヤンタン？、中華料
理と遠うやろか？ などといぶかしがる
ものは、大阪、京都、神戸への若者か
ら「あほかいな」と、かした頭をどぶ
かかれかねないそうじ。深夜放送の人気番
組で、スタジオはもうけつたいな騒ぎ！
ラジオの深夜放送が、若者たちに愛さ
れているそうである。今爆発的に人気の
ある大阪の深夜放送は、ヤンリク、ヤン
タンだという。

ヤンリクは朝日放送の「JBCヤング
、リクエスト」、ヤンタンは毎日放送の
「歌え！MBSヤングタウン」の略称で
、ともに午前二時、三時という深夜番組
だ。どちらも毎夜、五、六十万人も若
者をラジオの前に集めているといわれる。
五六十万人もの若者がへおもに、高校

生クラスの中心となった学生)人の寝静
まった深夜、それそれ一人ひとりに音量
を殺したり、イヤホンを差し込んだりし
て、ラジオに身を傾け、楽しんでい
う。この奇妙な孤独と連帯。何がそん
かに面白いのか？

○鬱々した若者と電波の奇妙な連帯
親の方は、部屋に灯がついているので
、わが子は勉強にいそしんでいると思
いでいるのに、彼ら、彼女らはラジオ
に響かれています。親よりも電波と連帯して
いるのである。この道楽息子、娘ども！
面白いから聞いてごらん。などという
子供なんか、いまだきいはいしないのであ
る。おやじやお袋と語り合う気もちの
けらもないらしい。ウチにも二匹のモン
スタ！高校坊主と中学坊主がいち坊主向
志は時にしやべり合っているが、親に口
をきくときは、電報のような言葉で、「月
調」。「小づかい」と、かねの催促である。

親に笑顔は見せないが、友人が来ると
、さながら刃のこぼれたのこぎりの如く
ゲグググというようなケツタイな笑声を
たて、調子づかずれながら声でギターを
弾き歌い、盆も正月もわからず小づかい
に困っており、ふくれっつらで唇がとん
らんから、家族も、はれものにさわると
いうようなのが、現代の高校生諸君の最
大公約数であろう。

何か、モヤモヤ世代が夕ガをはずして
喜んで聞くという深夜番組を、私も試み
に聞いてみた。いま売しの上方落語界の
若手、笑福亭仁鶴や、桂三司が司会して
いるが、そのしゃべり方がスピーテイで
、フレッシュで、私はびっくりして面白
くて、深夜のねむ気も吹っとんだ。

○時間感覚なしに沸きに沸く現場

機関銃のように早口の大阪弁と、ドラ
ム、エレキのかまひすしい音楽。ワー、
キャット、ピーツという喚声が、深夜の
ラジオを席捲しているのである。入り替
り立かわり出てくる出演者はみな、申込
んだ学生で、それに弥次がとび、ひやか
しが入り、沸きに沸く。深夜という時間
感覚が全然ないのも、大人の先入感との
ちがいである。このワー、キャー、ピー、
の喚声の現場見なければいけない。
そこで私は式日、ヤンタンの録音スタ
ジオをのぞいたのである。いろいろわ
、ウツマウツマと高校生ばかり。さしも
に天井の高いスタジオも、若い彼らの熱
気で、体臭にむせ返らんばかり。
場ちがいな中年女の私が入ると、まる
で家出息子を授けに来た母親というあん
ばいである。放送が始っても若者はたえ
ず出入りしている。

日本の防衛問題 (1)

永田 久

一年九七〇年(一)は日本にとって、大変むずかしい年だと言われています。大学問題として安保条約の問題と、おおよゆるのではなにかと想像されます。

海外にいる我々は祖国日本の動行には非常に注意をしております。心配をしております。しかし、残念なことに、文明は発達したとはいえず、未だ、日本の動きについて、正確に、判断する為の報道は、けっして十分とは言えません。そのため、かつて、太平洋戦争の終った際のコロニアの混乱——までとは行かなくてもそれに似た事のおこる心配を心ある人はしております。

それで今回は安保条約の問題の周辺をさぐって見たいと思えます。

まず、日本(二)国憲法について、憲法第九十八條に「この憲法は国の最高法規であつて、その条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為の全部又は一部はその効力を有しない」とある如く、この憲法は日本のあらゆる法律の上を行く法律であつて、これを無視しては日本の秩序も平和もあり得ない。この憲法を尊重せず、無視し、曲解する者は無法者と言われべきである。

この日本国の憲法で、今回、問題になるのは、第二章の「戦争放棄」の項目である。

その第二章は第九條の一條で成立している。それは「日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない」とある。

これは世界に類のない憲法の条項であります。「武力の行使」即ち戦争はもとより、「武力による威嚇」までしないと言うのである。その為には陸海空軍などの戦力も保持しないというのである。

この憲法を読めば誰にでも判る様に、今、日本の政府の言つてゐる「自衛権はある。そして自衛のための戦力、自衛隊は憲法違反ではない」と言つたのは、全く此の憲法の精神に反してゐる事は明らかである。

世界から戦争をなくしようと云う人類の夢を現実の問題として、実践に移して行

まいどありがとうございます
皆様の家具店クワラニーが

工場より直接皆様へ

寝具調度品、事務用机
飾ウインド、装飾棚
バルコソ、書籍戸棚
新築家屋の嵌込戸棚、
結婚式用家具並に寝具
セットいろいろ
其の他御注文に応じて
お好み型に製作致します

ツパンノ市

工場グアニ街五九四・六一四

電話一九五七番

店舗グアニ街五九三・五

電話二〇八二番

C.P. 二五七番

モーヴェイス
グワラニー

尾西兄弟商会

Moveis Guarany Irmãos Onishi

Drmitorio Sala de jantar. Sala de Visita.
Moveis armação geral fabrica propria.
Fabrica Rua Guarany 594-614 Fone 1957 C.Postal 1257
Loja Av. Tamoios 935 Fone 2081 TUPÃ C.P. São Paulo

Olaria Taniguti

リノポリス
谷口レンガ工場

白色硬質美麗

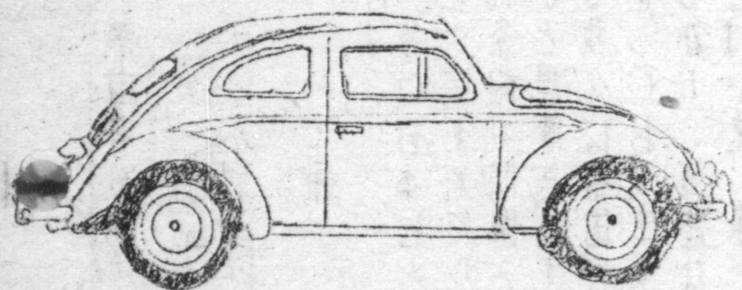
建築、扉、井戸側に最も適当
車一台に四千枚から五千枚、
一千枚三十五新クルゼイロス
多数御買上げに對しては割引の
御相談に応じます。

建築には良質の煉瓦を御
使して下さい。
御注文は、郵函一六七番
電話六九番リノポリス市

こうと云う事を日本国民が世界のどの国にも先きがけて、決心し、憲法に高々と掲げた事は、実に名譽あることであります。

ちなみに、今日、全世界で人類の使つてゐる軍事費は一二〇〇億ドルであります。この一〇〇億ドルというのはい寸わかりにくい数字ですが、ブラジルの国民総生産が三三〇億ドルですから、人類が軍事費と云うつまらぬ浪費に、ブラジルの総生産の約五倍もついでしてゐる事はなんと馬鹿な話でしょう。そして、人類の大半はろくな教育も受けず、ハラをすかしてゐるのです。つづく

ヴォクスワーゲン
Volkswagen



ヴォクス
カルマンギア 1500
ピックアップ

California Motor S.A.
カリフォルニアモーター会社
Oswaldo Cruz
スワルドクルース市
C. POSTAL 156

Diagnostica Elettronica

新設の電気検査機は
くるまのお医者さんです



世界の高級車ヴォクスワーゲン
新設の電気検査機を御利用下さい
どこがわるいか分解しないですぐわかります
ワーゲン車のモーター関係の診察をいたしましょう
銀行融資販売利用を御希の方には御世話致します

Aviso de Cine Partos

二月二十四日(火)二十五日(水)両夜とも八時 十八才
松竹 天然色 孤 橋幸夫 柔野みゆき 松井美津代
天然色 眞理あけみ 早川保 江美しのぶ
夏が若いエネルギーを爆発させる
海が生命を狂わせる
寺島達夫 清水充 花沢徳衛
倍賞千恵子 小瀬明 千之赫子
大野の落日に吠える男二匹ノ

二月二十七日(金)八時 二十八日(土)九時半
東宝創立二十五周年記念作品名匠木下恵介監督自ら脚本執筆、製作藤本真澄
夏木陽介 藤原釜足 谷口完
なつかしき笛や太鼓 大空まゆみ 小坂一也 初音礼子
名作(二十四の瞳)の感動をもう一度!!鳥の子らと若い教師の心にしみる愛の交流ノ

三月一日(日)九時半 二日(月)八時
東宝 姦色 ゴジラの息子 高島忠夫 久保明 佐原健二
前田美波里 平田昭彦 黒部進
ゴジラの赤ちやん大奮戦ノ親子そろって新怪獣と大決戦ノ

三月三日(火) 四日(水)両夜とも八時 十才
松竹 天然色 あんこ椿は恋の花 竹脇無我 都はるみ 松山英太郎
香山美子 勝呂誉 青山和子
私を奪って、黒潮の女の種くて激しい恋ノ

松竹 天然色 智恵子抄 若下志麻 平幹二郎 岡田英次
母波哲郎 中山仁 南田洋子
智恵子は東京に空が無いというほんとうの空が見たいという、阿多羅山の青い空がほんとうの空だという

東宝天然色、世界各国の国際映画祭に参加して種々の受賞芸術作品
近代映画協会と東宝が提携して作った
(砂の女)(怪談)につづく第三作目。

鬼(おにばば) 婆 近代映画祭に特別出演されたが、あまりにも強烈なピクニック場面の
ため、上映禁止となって今日に列っているいわくつき。今度漸く上映解禁となった問題の名作。